

循環型社会形成推進地域計画 3 次改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
高岡地区	高岡市、氷見市、小矢部市、 高岡地区広域圏事務組合	平成 29 年 4 月 1 日 ～令和 4 年 3 月 31 日	平成 29 年度～令和 3 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指標	現 状 (平成27年度)	目 標 (令和 4 年度) A	実 績 (令和 4 年度) B	実績 /目標	
排出量	事業系 総排出量	33,948t	31,599t (-6.9%)	33,603t (-1.0%)	14.5%
	1 事業所当たりの排出量	2.28t	2.31t ( 1.3%)	2.4t ( 5.3%)	407.7%
	生活系 総排出量	48,625t	44,985t (-7.5%)	46,711t (-3.9%)	52.0%
	1 人当たりの排出量	159.78kg/人	152.97kg/人 (-4.3%)	167kg/人 ( 4.5%)	-104.7%
合計	事業系生活系総排出量合計	82,573t	76,854t (-7.3%)	80,314t (-2.7%)	37.0%
再生利用量	総資源化量	18,114t (20.4%)	17,339t (21.0%)	15,389t (18.3%)	-350.0%
最終処分量	埋立最終処分量	10,177 t (12.3%)	9,744 t (12.7%)	10,980t (13.7%)	350.0%

## 2 目標が達成できなかった要因

### ■排出量

#### 【事業系】

総排出量は、平成 27 年度実績に比べ減少しているものの、令和 4 年度目標値には達していない。

また、1 事業所当たりの排出量は増加しており、目標値には達していない。

要因としては、新型コロナウイルス感染症対策に伴い総排出量は減少したものの、事業活動の回復等の影響もあり、1 事業所当たりの排出量が増加傾向にあることが考えられる。

#### 【家庭系】

令和 4 年度実績は、平成 27 年度実績に比べ減少しており、排出量の削減が進んでいるものの、令和 4 年度目標値には達していない。

要因としては、人口減に比して世帯数の減が鈍く、世帯毎の固定排出量が減らないことや、一人暮らし家庭の増加に伴い生活環境が変化し、スーパー等でのパック食品等の購入による活ごみ量が増加したこと、新型コロナウイルス感染症対策に関する生活ごみ量が増加したことが挙げられる。

### ■再生利用量

令和 4 年度実績は、平成 27 年度実績に比べ直接資源化量、割合ともに増加しており、再生利用は着実に進んでいるものの、総資源化量において令和 4 年度目標値に達していない。

要因としては、新型コロナウイルス流行に伴う集団回収の実施団体及び回数の減少や市民の方への周知不足が考えられる。

### ■最終処分量

令和 4 年度実績は、平成 27 年度実績に比べ増加しており、再生利用の段階で目標を下回ったことが要因と考えられる。

### 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和9年度まで

高岡地区広域圏を構成する高岡市、氷見市、小矢部市では、令和4年度に「高岡地域循環型社会形成推進地域計画（第4次）」を策定しており、今後は当該計画に定める各種施策を着実に推進することで、循環型社会の実現を目指す。

#### ■排出量の削減

##### 【事業系】

一般廃棄物を多量に排出する事業者に対し、毎年「事業系一般廃棄物の減量化及び資源化に関する計画書等」を提出させ、ごみの排出実態を把握し、ごみの減量・分別に努めるよう指導を行う。

また、事業系ごみの減量化・資源化をより一層推進するため、各事業所に適切な処理方法が取り入れられるように支援する。

##### 【家庭系】

ごみの発生抑制や減量化・資源化の取組がライフスタイルとして定着するよう、個人が実施可能な取組（食品ロス等）について、各市の広報誌やホームページ等の活用、自治会等への出前講座を通して情報提供を行う。また、食品トレイ等の再利用を呼びかけ削減につなげるほか、環境への関心や理解を深めてもらうことを目的とした、ごみ焼却施設の施設見学等も実施していきたい。

##### 【共通】

ごみの有料化制度の継続及び適宜見直しを行い、処理経費に見合った手数料となるよう制度の見直しを行い、排出量の削減を目指す。

#### ■再生利用の推進

集団回収事業奨励金交付制度（再資源化できるものを集団で回収する市民団体に対し、奨励金を交付するもの）を継続するとともに、登録団体が増加するよう啓発活動を行いながら、集団回収の推進に努める。

また、使用済み廃小型家電の回収（小型家電に含まれているレアメタルのリサイクル）や高岡市において始まるプラスチック一括回収によるプラスチック製品の再生利用の意識促進、廃プラスチック類のリサイクル推進（再商品化、民間処理施設でのRPF化）にも引き続き取り組む。

排出事業所や許可業者に対して、燃えるごみの中に混入している古紙や段ボール、白色トレイ等の資源ごみを分別回収するよう指導・啓発を行う。

市民に対して、家庭から出る食品トレイの再生利用や高岡市で始まるプラスチック一括回収について広く周知する。

リサイクルプラザをリニューアルして、より付加価値の高い資源物の回収や再生利用率の向上を目指す。（氷見市）

(都道府県知事の所見)

目標未達成の指標について、要因を分析し、取組みを強化するものであることから、今後、上記方策を着実に実施することにより、目標達成に努められたい。